

# NEWS RELEASE

キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社

## キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ製のジョブコンソールを搭載 ミヤコシ製1200dpiフルカラーインクジェット輪転プリンター“MJP20AXS”を発売

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キヤノン MJ)とキヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社(代表取締役社長：井崎孝、以下キヤノン PPS)は、株式会社ミヤコシ(代表取締役社長：宮腰亨、以下ミヤコシ)製の1200dpiフルカラーインクジェット輪転プリンター“MJP20AXS”を2019年12月より発売します。



MJP20AXS

国内の印刷市場においては、多品種少量印刷や短納期要求など多様な顧客ニーズに対応するために印刷機のデジタル化が進んでいます。インクジェットプリンターに対しては、オフセット印刷機に迫る画質、生産性、デジタルならではの付加価値がもたらす印刷領域拡大や、印刷工場の効率的な運用へのニーズが高まっており、ミヤコシ製のプリンターにキヤノン PPS 製のジョブコンソールを搭載し、国内市場のニーズに応えます。

“MJP20AXS”は、高い印刷品質と生産性、コストのバランスに優れた1200dpiフルカラーインクジェット輪転プリンターです。

新開発のヘッドとインク、インク供給システムによって、ヘッドリフレッシュ用のラインやランダムドロップを大幅に低減し、モノクロ印刷にはK(墨)ヘッドのみを使用するモノクロモードで追刷り業務にも容易に対応します。また、ダブル乾燥ユニットを採用し用紙の波うちを抑制します。ノズル抜けや色見当のチェック・補正を自動化し、調整時間の削減も実現しています。

さらにキヤノン PPS が開発したジョブコンソールをプリンターの操作画面に搭載することにより、ジョブ管理とプリンター操作のシームレスな連携を実現します。また、従来のSXデータを取り込むソフトウェアの利用により、印刷業務範囲の拡大も可能となります。

キヤノン MJ グループは、“MJP20AXS”の特長となる高品質・高生産性と優れた操作性により、データプリントサービス市場における各種通知物のカラー印刷に加え、追刷り業務のフルカラー化のみならず、マニュアルやDM印刷などにも幅広く対応し、お客様の印刷ビジネス拡大に貢献します。今後3年間で20システムの販売をめざします。

製品名	価格(税別)	発売日
MJP20AXS	オープン価格	2019年12月

- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社  
マーケティング部 マーケティング第二課 03-6719-9642
- 高速連帳プリンターホームページ : <http://www.canon-pps.co.jp/products/production-printer/>
- ニュースリリースホームページ : [canon.jp/newsrelease](http://canon.jp/newsrelease)

## ＜株式会社ミヤコシの概要＞

社 名：株式会社ミヤコシ  
本社所在地：千葉県習志野市津田沼1-13-5  
設 立：1946年(昭和21)年05月  
代表取締役社長：宮腰 亨  
事 業 内 容：印刷機械の製造・販売  
【主力製品】

- ・デジタルオンデマンド
- ・ビジネスフォーム
- ・ラベル印刷機
- ・商業用オフセット輪転機
- ・フィルム用オフセット輪転機
- ・角底製袋機

2016年に創立70周年を迎えたミヤコシは、2004年のフルカラーインクジェットプリンター“MJP600”をリリース以来、オンデマンドインクジェットプリンターの開発・製造・販売を実施しています。

## ＜(プロダクション印刷機の) デジタル印刷需要の国内市場動向＞

印刷市場全体では、2020年は5兆6千億円規模となるものの、2015年からは5%近くのマイナス成長と予測されています。そのうち、デジタル印刷では2020年に3,900億円、こちらは2015年からは7%程度のプラス成長、また、データプリントサービス分野では2,600億円、2%のプラス成長を見込んでいます。(キヤノン MJ 調べ)

## ＜キヤノングループの商業印刷関連事業について＞

キヤノングループは、2020年1月より商業印刷分野のオセホールディング B.V. (オセ) 製品をキヤノンブランドに統合するとともに、キヤノン PPS ではその製品群を相互に補完できる本機の販売を行うことで、さらなる市場拡大を進めるとともに事業の成長を加速させていきます。